

感動をありがとう。

輝け君の汗と涙 北信越総体2021

記憶に残るインターハイ

市長 佐々木康男



令和3年度全
国高等学校総合
体育大会カヌー
競技大会、第37
回全国高等学校

カヌー選手権大会は全国的に新型コロナウィルス感染症が拡大する厳しい状況ではありましたが、大会に携わっていただいた全ての皆さまのご協力により、無事終了することができました。ありがとうございました。

大会期間中は天候が安定せず、天候不良などによる中断もありましたが、18日から21日にかけて500m競技と200m競技が予定どおり行われました。本県代表である金津高等学校も多くの選手が予選を通過するとともに女子カナディアンシングル500mでは、6位入賞を果たしました。

全力でカヌーを漕ぎ、ゴール後には達成感で満ち溢れた爽やかな笑顔を見

せる選手や力を出し切れず悔し涙を流す選手の皆さまの姿に深い感銘を受けました。

大会期間中は、本市の魅力を少しでも感じていただけるよう地元のお菓子やおにぎり、越のルビーのふるまいを行うとともに2024年春の北陸新幹線福井・敦賀開業のPRもあわせて行いました。

コロナ禍で2年ぶりの開催となった本大会が、北潟湖で実施できたことは、あわら市を全国にPRできたことに加え、大会を待ちわびた選手、監督および関係者の皆さまにとっても記憶に残る大会となったものと思います。

今後も本市発展のため、さまざまな事業を市民の皆さまとともに、全力で取り組んでまいりますので「誰もがとさめくあわら市」実現に向けてあらためてご協力いただきますようお願い申し上げます。

コロナ禍での初開催

カヌー競技委員会委員長 松下晋也



令和3年度全
国高等学校総合
体育大会カヌー
競技大会は、全
国高体連、日本

カヌー連盟、福井県、福井県教育委員会、あわら市、あわら市教育委員会、県カヌー協会、教職員および高校生補助員など、多くの皆さまのご協力を得て、北潟湖特設カヌーコースで開催することができました。

2年ぶりの開催となった全国高校総体は、新型コロナ感染症対策に配慮し、また天候に注意しながらの大会でしたが、高校生アスリートが躍動しました。昨年出場できなかった先輩たちの思いを胸に秘め、全力でカヌーを漕ぐ高校生の姿はすばらしいものでした。全国から集まった選手が最高のパフォーマンスを見せてくれました。選手にとっても思い出に残る大会になったと思います。

ます。高校生が活躍する姿を見ることで、私たちも感動をわかちあうことができました。

金津高校カヌースプリント部は、地元北潟湖での開催ということもあり、大会前から練習に熱が入っていました。コロナ禍のため、県外遠征や合宿等が制限され、思うような強化ができない状態でしたが、多くの選手が予選を通過し、また女子カナディアンシングル500mでは6位入賞を果たすなど、すばらしい成果をあげてくれました。北潟湖というめぐまれた環境で毎日練習させていただいているおかげだと思えます。

今大会が成功に終わったのは、地元あわら市をはじめ、多くの皆さまの多大なご支援とご協力のおかげであります。大会にかかわった全ての皆さまに感謝申し上げます。お礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。



インターハイ閉幕

大会には、46都道府県から97校、763人の選手や監督が参加しました。本県代表として、北潟湖で普段から練習している金津高等学校カヌー部スプリントチームの21人が出場。女子カナディアンシングル500mでは、田嶋愛弓選手が、見事6位入賞を果たしました。その他、多くの選手が予選を突破して地元の応援に応えた活躍を見せました。

また、同校から競技補助員および運営補助員として多数の生徒が参加し、大会運営を支えてくれました。

大会中は、選手や監督の皆さまを「おもてなし」するため、地元のお菓子やおにぎり、越のルビーのふるまいを行いました。



インターハイのマスコットキャラ
ウニンくん